

社会資本総合整備計画
八幡浜中心地区まちづくり計画

平成29年1月

愛媛県八幡浜市

社会資本総合整備計画

平成29年 1月 日

計画の名称	八幡浜中心地区まちづくり計画										重点配分対象の該当	○						
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)					交付対象	八幡浜市											
計画の目標	<p>「八幡浜中心地区まちづくり計画」では、八幡浜市の3つ交通拠点（JR八幡浜駅・八幡浜IC・八幡浜港）に囲まれ、既存の商業・業務機能が集積している中心市街地の都市中心と、行政・文化・観光拠点が集約され、都市中心を補完する副中心を併せた区域を「中心拠点区域」に位置付け、各拠点間の連携・ネットワークの強化を図り、都市機能を集約化することで、『交流拠点を有機的に結び、魅力ある”みなとまち八幡浜”の再生』を目指している。</p> <p>中心拠点区域の八幡浜中心地区内においては、民間活力を利用した商業施設や既存商業地区内のPREを活用した新たな交流拠点を誘導施設として整備する。これにより各拠点間の回遊性の向上を図り、地域の賑わい形成を再構築する。</p> <p>一方、八幡浜市健康づくり計画の方針である、健康づくり支援のための環境づくりとして、中心拠点区域内にウォーキングコースを整備する。これにあわせ、コースマップ作成、講演会開催など、市民の健康増進を目的とした健康都市関連事業を展開することで、健康都市としての魅力の向上を図る。</p>																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地（商店街）の歩行者数を、449人/日から500人/日へ増加。 ・市民スポーツセンターの利用者数を、12,081人/月から13,700人/月へ増加。 ・生活習慣を改善する意欲がある人の割合を、67.6%から76.0%へ増加。 ・避難生活のために必要な市の備蓄量（食糧）を、840人分/3日間から1,100人分/3日間へ増加。 ・まちなみガイド（ボランティア）の利用者数を、620人/年から842人/年へ増加。 																	
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考					
											当初現況値 (H25)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)					
	都市機能強化を図った各拠点間の連携、中心市街地活性化の度合いを「商店街の歩行者数」で評価する。										449 人/日	—	500 人/日					
	温浴施設整備により発生した影響度の度合いを隣接施設である「市民スポーツセンターの利用者数」で評価する。										12,081 人/月	—	13,700 人/月					
	健康都市としての魅力向上の効果の度合いを「生活習慣を改善する意欲がある人の割合」で評価する。										67.6 %	—	76.0 %					
	都市における防災力向上において、避難者や帰宅困難者への支援として、被災時に必要な食糧の準備度合で評価する。										840 人分/3日間	—	1,100 人分/3日間					
	文化交流拠点の一体的な整備による、まちの賑わいの度合いを「まちなみガイド利用者数」で評価する。										620 人/年	—	842 人/年					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,297.0 百万円	A	1,089.0 百万円	B	0 百万円	C	208.0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	16.0 %						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30					
A-1	都市再生	一般	八幡浜市	直接	—	八幡浜中心地区都市再生整備計画事業	A=105ha	八幡浜市						1,089.0	-			
													合計	1,089.0				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30					
													合計	0				
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29	H30					
C-1	活動支援	一般	八幡浜市	直接	—	市民スポーツセンター機能向上事業	市民スポーツセンター改修の実施	八幡浜市						179.0				
C-2	計画・調査	一般	八幡浜市	直接	—	教育文化施設（旧図書館）現況調査	郷土資料館への活用可能性調査	八幡浜市						1.8				
C-3	活動支援	一般	八幡浜市	直接	—	中心市街地活性化事業（展覧会開催）	展覧会の開催	八幡浜市						14.1				
C-4	活動支援	一般	八幡浜市	直接	—	健康都市関連事業（マップ作成・講演会開催）	マップの作成及び講演会の開催	八幡浜市						4.0				
C-5	計画・調査	一般	八幡浜市	直接	—	事業効果分析調査	基幹事業の効果分析調査	八幡浜市						2.0				
C-6	計画・調査	一般	八幡浜市	直接	—	都市構造に関する基礎調査	都市構造の分析調査	八幡浜市						7.1				
													合計	208.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						
C1	市民スポーツセンターの機能向上整備と北浜温浴施設整備（誘導施設）を一体的に実施することで、両施設の集客力の増加による経済効果、市民の健康増進も期待される。																	
C2	旧図書館の現況を調査して、基幹事業である教育文化施設と一体的に整備することで、教育文化施設の機能向上が図れ、交流人口の増加につながる。																	
C3	展覧会開催等の各種事業を効果的に実施することで、交流人口が増加し、中心市街地の活性化が期待できる。																	
C4	健康都市の環境づくりとして、ウォーキングコースマップの作成や専門家派遣による講演会を開催することで、市民の健康増進が期待でき、健康都市としての魅力向上につながる。																	
C5	今後のまちづくりを検討するための効果分析調査を行う。																	
C6	都市構造に関する基礎調査を実施することで、集約都市形成の推進が期待できる。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29	H30					
													合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	11.0	21.0	110.0		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	11.0	21.0	110.0		
前年度からの繰越額 (d)	0	8.624	10.376		
支払済額 (e)	2.376	19.248			
翌年度繰越額 (f)	8.624	10.376			
うち未契約繰越額 (g)	8.624	10.376			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	78.4%	35.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	関係機関(JR, バス及びタクシー 会社)との協 議に不測の日 数を要したた め	関係機関(JR, バス及びタクシー 会社)との協 議に不測の日 数を要したた め			

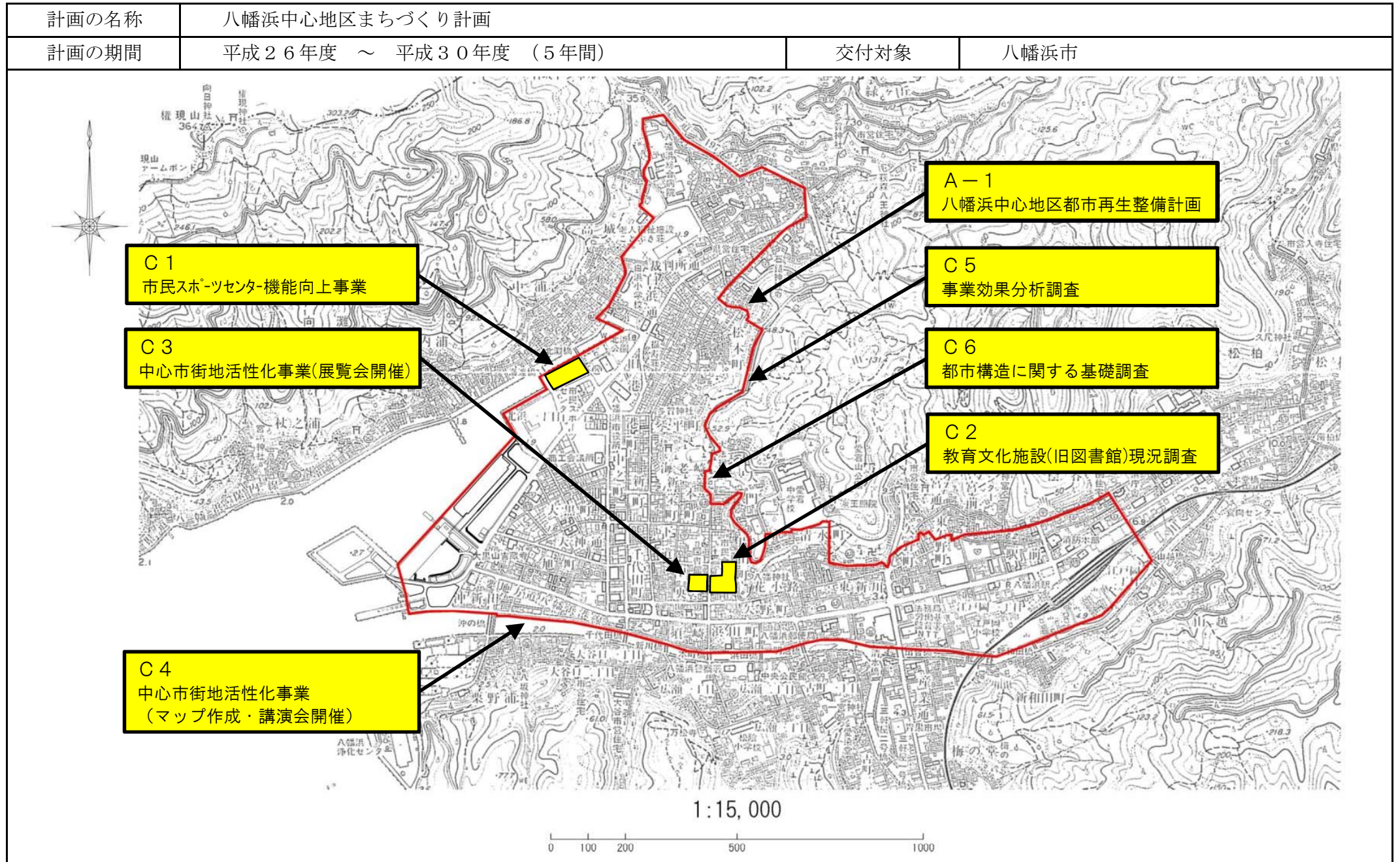
※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	11.0	21.0	110.0	122.0	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	46.2	0.0	
交付額 (c=a+b)	11.0	21.0	156.2	122.0	
前年度からの繰越額 (d)	0	8.624	10.376	81.955	
支払済額 (e)	2.376	19.248	84.621		
翌年度繰越額 (f)	8.624	10.376	81.955		
うち未契約繰越額 (g)	8.624	10.376	65.831		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	78.4%	35.0%	39.5%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	関係機関(JR, バス及びタクシー 会社)との協 議に不測の日 数を要したた め	関係機関(JR, バス及びタクシー 会社)との協 議に不測の日 数を要したた め	関係機関 (JR)との協 議に不測の 日数を要し たため		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:八幡浜中心地区まちづくり計画 事業主体名:八幡浜市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2)上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>